

## 手賀沼における侵略的外来水生植物の大規模駆除後の再繁茂状況

千葉県が、2021年1月から2月にかけて、手賀沼の大堀川河口部で侵略的外来水生植物の大規模駆除を実施しました。駆除後の再繁茂状況を調査した結果について、2022年度千葉県生物学会 会員研究発表会で、美しい手賀沼を愛する市民の連合会 顧問の小倉久子さんが発表しました。

発表者：小倉久子<sup>1)</sup>，八鍬雅子<sup>1)</sup>，竹内順子<sup>1)</sup>，林紀男<sup>2)</sup>

1)美しい手賀沼を愛する市民の連合会，2)千葉県立中央博物館

### 【要旨】

千葉県北西部に位置する手賀沼では、特定外来生物であるナガエツルノゲイトウ及びオオバナミズキンバイが異常繁茂を続けている。千葉県環境生活部水質保全課では手賀沼の生態系を劣化させないために、令和2年度（2020年度）から水草刈取り船を使ったナガエツルノゲイトウ・オオバナミズキンバイ大規模駆除を始めている。美しい手賀沼を愛する市民の連合会は、千葉県立中央博物館の林紀男さんと共同で、機械駆除のあとの再繁茂状況について、定点観察を行った。

### 水草刈取船 ハイδροモグ(ノダック(株)製)による機械駆除

実施期間：2021年1月19日～2月12日

#### <水草刈取り船 ハイδροモグ の仕様 等>

- ・機種名：ハイδροモグ(HYDROMOG-SRX105) ノダック(株)製
- ・駆除方法：クラムレイキによる掴み上げ方式の回収
- ・移動可能水深：水深40cm以上
- ・駆除能力：約300～500㎡/日
- ・今回の本格駆除面積(実績値)：約7,880㎡



駆除対象エリア ※ノダック(株)作成



### 機械駆除実施エリアの再繁茂状況調査

琵琶湖のオオバナミズキンバイ駆除の経験から、

#### 機械駆除後の再繁茂防止が肝要

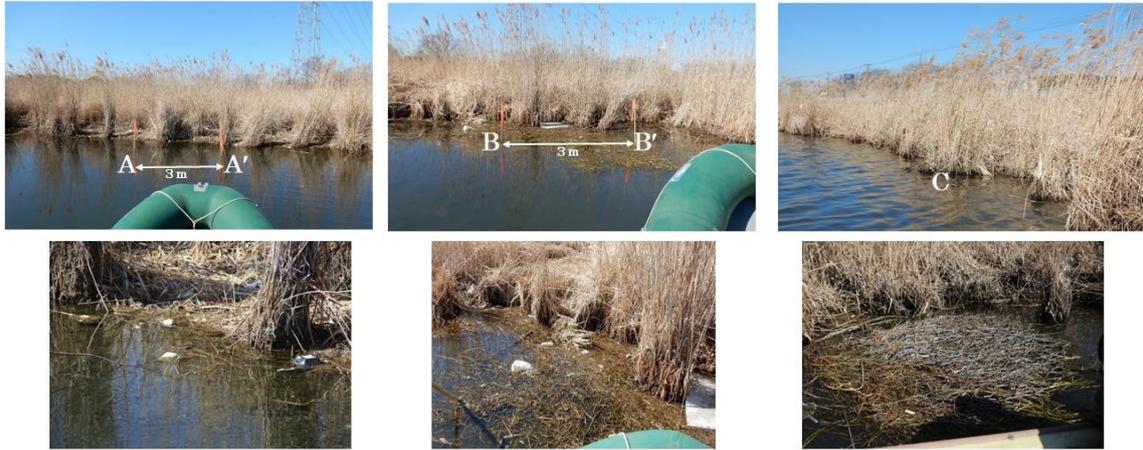
というアドバイスを受け、駆除後のアフターケアの必要性を知るため、機械駆除実施エリアの再繁茂状況の調査を行った。

3カ所の定点で駆除後の経過を観察

- A 大堀川河口部駆除エリア最南端
- B 大堀川河口部入口付近南側
- C 根戸新田地先



2021年2月20日(作業完了から8日後)



★すでにナガエ・オオバナの断片が多数漂着している。取り残しも散見された。

2021年4月3日 (50日後)



★漂着した断片の中からナガエ・オオバナの発芽が見られた。

2021年6月21日(129日後)



★ほとんどの岸際に群落ができている。すっかり元の木阿弥状態である。

2021年7月19日(157日後)



★前回から約1カ月経過し、さらに面積、容積ともに増えていた。群落の先端に浮葉が多数広がっている。

2021年7月22日

＜再駆除を実施＞

実施期間：2021年7月20日～30日

★機械駆除と人力駆除を併用し、駆除エリアを再駆除



写真は千葉県提供

再駆除後の再繁茂状況確認調査

2021年7月25日(再駆除 3日後)



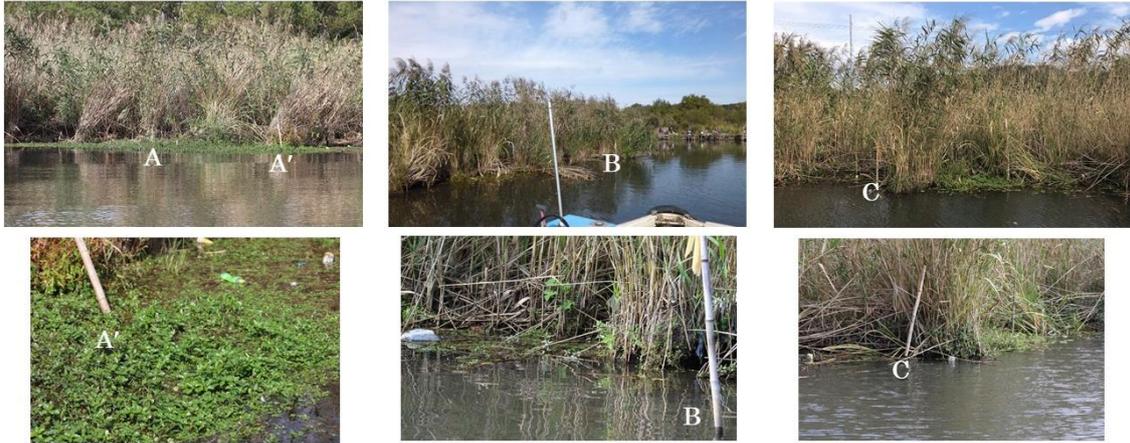
★見渡す限りすっかり駆除されている。しかし、すでに断片が漂着している。

2021年8月30日(39日後)



★すでに漂着した断片から発芽・生長しているものがある。また、大きな群落も漂着している。

**2021年10月25日 (95日後)**



★A・B・C 地点のヨシの株の周りには、這い上がるようにナガエが伸びていた。

**2021年11月29日 (130日後)**



★ 11月末でもどんどん発芽・生長中 駆除エリア外の群落も、まだ緑色

**2021年12月21日 (152日後)**



★ 1か月前とあまり変わらず

**2022年1月24日 (186日後)**



★B 地点周辺には比較的漂着物が少なかった。風向きによるものか。  
A 地点は、目印の杭がトラップになってナガエ・オオバナの群落を維持している。

**10回の定点観察から得た知見**

- ・ 駆除の直後から、茎断片等の漂着が始まっていた。周辺の駆除作業中に拡散した茎断片が再漂着していることもうかがわれた。
- ・ 再駆除後の再繁茂量は、本格駆除後と比較して少なかった。駆除直前の繁茂量が減少していることのほか、駆除時の拡散防止対策がより徹底されてきたこと、対岸の大群落を駆除したことで漂着の供給が減少、などの効果と考えられた。
- ・ ナガエ・オオバナの生長速度は季節によって異なり、また、風向の季節的傾向が茎断片や群落の漂着に大きく影響するため、大規模駆除の実施にあたっては季節の配慮が必要であると考えられた。
- ・ 機械駆除後に継続的な再駆除を行うことは、ナガエ・オオバナの低密度管理において、非常に重要であることが確認された。